

## 第 19 期委員会活動計画 (2016.10~2017.9) (案)

### 1. 総務委員会

委員長 横田 崇

1. 会員名簿作成の要否の検討  
会員名簿の作成・配布について、改めて会員の意向を調査し、要否を検討する。
2. 会長、理事等の役員及び委員会メンバーの選出方法の検討  
会長、理事、監事等の役員及び委員会メンバーの選出方法について検討する。  
検討結果は、来年の総会で報告する。

### 2. 企画委員会

委員長 中村 功

1. 企画委員会の開催  
年 8 回程度開催予定  
第 1 回は 2016 年 10 月 13 日 (東洋大学)
2. 次回学会大会の準備  
京都大学 宇治校舎 (矢守実行委員長) 2017 年 10/22-10/23 を軸に検討中
3. 勉強会・シンポジウムの開催  
年 2 回の勉強会  
年 1 回のシンポジウムを開催予定
4. 防災情報連携体関連  
シンポジウム 「激甚化する台風・豪雨災害とその対策」に学会として参加予定。  
日 時：平成 28 年 12 月 1 日 (木曜日) 10:00~18:00  
会 場：日本学術会議講堂 (東京都港区六本木 7-22-34)  
主 催：日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会、防災学術連  
携体  
片田会員が登壇の予定。  
『学術の動向』11 月号特集「防災学術連携体の設立と取組」片田会員原稿、掲載予  
定。
5. 地震学会との共同企画(研究会 or ワークショップ or ミニシンポ)  
古村会員から提案の検討  
「南海トラフ地震の予測可能性に関する意見交換」  
テーマ  
・地震学の限界とその不確定な情報で防災対応を進めることが可能か  
・防災情報としてどのような確度と内容の情報が地震学に期待されるか  
・それに対して地震学はどこまで答えられるか、など。  
先方は年内を希望。

### 3. 予算委員会

委員長 岩田 孝仁

1. 中間決算の実施  
\*2017 年 5 月実施、理事会報告予定

2. 第 19 期決算書作成・財産目録作成
3. 第 20 期予算書作成

#### 4. 広報委員会

委員長 鷹野 澄

1. ニュースレターの発行  
引き続き時宜にかなうニュースレターの発行に努める。また、予算の範囲内で各都道府県・政令指定都市にニュースレターを送付し、学会PRに努める。  
\*67号(2016.10)、68号(2017.1)、69号(2017.4)、70号(2017.7)発行予定
2. ホームページの随時更新  
事務局と広報委員の協力を得て、引き続き学会行事等をいち早く案内し、結果報告を速やかに行う等、ホームページを通じて学会活動の発信を行う。

#### 5. 学会誌編集委員会

委員長 牛山 素行

1. 「災害情報 No. 15」編集作業  
・原稿締切(7月中旬), 編集作業. 12月頃までにオンライン公開.
2. 「災害情報 No. 16」の発行に向けた準備  
・特集について, タイトルを2016年10月の編集委員会にて検討, 原稿依頼  
・原稿締切(12月末), 編集作業. 2017年6月頃までにオンライン公開, および No. 15・No. 16の印刷版刊行.
3. 「災害情報 No. 17」の発行に向けた準備  
・原稿締切(2017年6月末), 編集作業.

#### 6. 廣井賞等表彰審査委員会

委員長 片田 敏孝

2017年廣井賞の公募及び選考を行い、第19回学会大会にて授賞式及び受賞記念講演会を開催する。また阿部賞・河田賞について選考と授与を実施する。

- ・2017/1 2016年授賞式・記念講演の報告(ホームページ、ニューズレター等)
- ・2017/2~5 2017年推薦公募(ホームページ、ニューズレター、一斉メール)
- ・2017/6~7 表彰審査(表彰者の選考)
- ・2017/8 理事会報告(廣井賞候補者を理事会に報告、承認)
- ・2017/9 表彰式準備(招請案内、賞状・賞牌製作等)
- ・2017/10/1 表彰者の公表(ホームページ)
- ・2017/10/ 2017年廣井賞授賞式、受賞記念講演、阿部賞・河田賞選考